

飴村秀子 藍の美

広島県呉市に生まれ、藍染めの第一人者として活躍し続ける飴村秀子（1928～）。化学薬品を一切使わない「灰汁（あく）発酵建て」と呼ばれる伝統技法を駆使し、深い祈りを宿した美しい青い世界を生み出しています。

戦時中は呉工廠で空襲に遭い、また広島市安芸区に疎開中、原爆が投下され、親せきを探すために入市被曝しました。結婚を機に山口県へ移り、40歳代に藍染めと出会い、50歳でアトリエに藍甕（あいがめ）を設けます。以降、本格的に藍染めの創作活動に入り、研鑽を積みながら、聖書をモチーフに自身の経験や記憶が内包された平和や自然への想いを作品に昇華し続けています。

本展では、藍の表現に出会う前の1960年代初期作品から、アトリエに藍甕を設けた後の作品まで、所蔵する全10点を一堂に公開します。

1. 飴村秀子《あかい葉脈》1966年 ろうけつ染め 第9回日展初入選作品
2. 飴村秀子《よき道をたどれ（エレミア書6-16）》2006年 ろうけつ染め、灰汁発酵建て正藍染



同時開催 須田国太郎の芸術

日本近代絵画史に偉大な足跡を遺した、洋画家・須田国太郎（1891-1961）。

東西の絵画の総合を探求しながら、さまざまな経験と視点をもって制作に取り組んだ、油彩画や能デッサン、陶器などを紹介します。

3. 須田国太郎《花山天文台展望》1931年 油彩・キャンパス

飴村秀子（あめむらひでこ）

- 1928年 広島県呉市に生まれる
- 1945年 染色工芸作家花房花子氏に師事。ろうけつ染めを学ぶ。
- 1952年 以降、日展、日本現代工芸美術展、光風会展、県展などに出品
- 1966年 日展初入選、光風会（クラフト社賞受賞）
- 1978年 山口県芸術文化振興奨励賞受賞 日本現代工芸美術家協会会員
- 1983年 日本現代工芸美術展審査員（同、1986年）
- 1986年 日本現代工芸会長賞受賞
- 1987年 日展特選受賞（同、1992年）
- 1990年 山口県芸術文化選奨受賞
- 1994年 日展審査員（同、2000年・2006年）
- 2004年 中国文化賞受賞
- 2007年 日本現代工芸美術展 文部科学大臣賞受賞
- 2008年 地域文化功労者表彰
- 2017年 日本現代工芸美術展 内閣総理大臣賞受賞

そのほか2013年に技術伝承のため「藍と愛の会」を発足するなど文化振興にも広く尽力し続けている。

ワークショップ

トートバックを染めてみよう！

日時：12月8日（日）

①10時～12時

②13時～15時

会場：三之瀬御本陣芸術文化館

参加費：500円（別途入館料が必要）

定員：10名 先着順（午前5名、午後5名）

申込方法：事前申し込みとなります

参加希望者氏名、年齢、住所、連絡先（メールアドレス、または昼間に連絡が取れる電話番号）、希望時間（①か②）をご明記の上、下記のメール またお電話、FAXでお申し込みください。

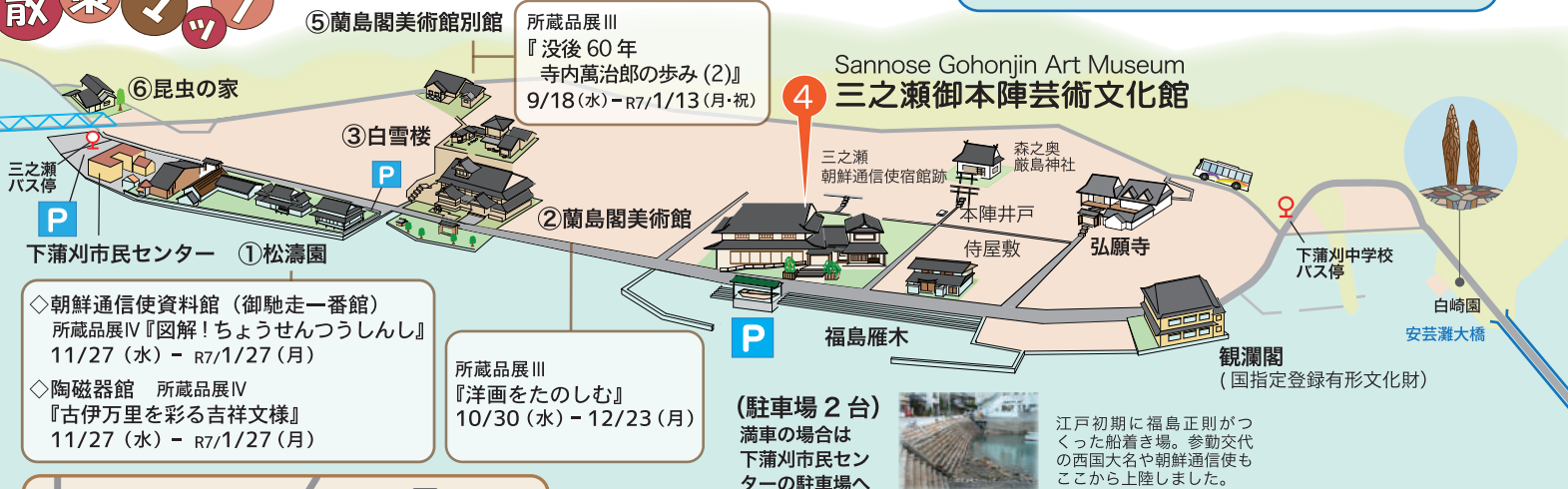
[Mail] honjin@shimokamagari.jp

[Tel] 0823-70-8088

[Fax] 0823-70-8044



散策マップ



広島市内から車で約60分

呉市内から国道185号線を竹原方面へ。安芸灘大橋（有料）を渡った最初の島が下蒲川島です。下蒲川市民センター前の無料駐車場をご利用ください。

指定施設にて1,000円以上ご利用の方に安芸灘大橋の帰りの通行券を進呈！詳しくは、呉市観光案内所 TEL:0823-23-7845 まで

JR 呉市内から電車・バス利用の場合

JR 呉線で広島駅を下車。広島駅前の道路を渡ったところにある「広島駅前」バス停から瀬戸内産交運行の「営農センター・沖友天満宮行き」バスに乗り、「下蒲川中学校」または「三之瀬」で下車。バスは上下線とも毎時1本運行しています。

[バスに関するお問い合わせ：瀬戸内産交（株）TEL 0823-70-7051]

三之瀬御本陣芸術文化館



アクセス方法



バス時刻表



Instagram



Facebook



QRコードからアクセスできます！

